

Hospitality ～おもてなし～

<この3ヶ月間を振り返って①>

4月10日に1年生が入学してからこの3ヶ月間、日々の授業のみならず、いろいろな国際教養科の行事が開催されました。それらを振り返りつつ、今後の行事などについてアナウンスいたします。

<4月21日(金): 1・2年～ウガンダ共和国大使との交流会>

「アフリカの真珠」ウガンダ共和国の、日本駐在ウガンダ大使 トーフアス・カーフワ様、在札幌ウガンダ共和国名誉領事 亀田和明様、エヴェリン・ンガロンサ 様、フレダ・ニランサンジエラ様、山崎明香様が来校されました。

金山校長先生との会談のあと、カーフワ大使から英語でウガンダの実情についての講話がありました。生徒からウガンダの難民問題や政治、女性の社会進出などについて積極的に英語で質問する機会もいただき、本校生徒にとってとても有意義な時間となりました。



<4月28日(金): 1・3年生交流会>

1年生が入学後初の「縦のつながり」になる3年生との英語による交流会が行われました。企画・運営はすべて国際教養科3年生が行いました。3年生による英語での司会進行のもと、国際教養科での3年間の学びがわかる生徒制作オリジナルビデオの上映、1年生からの質疑応答の後に、1年生全員が3年生に対し、英語で自己紹介をしました。3年生からの質問を受けるなどの英語でのやりとりを通して、3年生が1年生に親身に相談に乗ってくれていました。また、この日、毎年、カナダ語学留学でお世話になっているアドバイザーのアンドリューさんも来校してくれました。





<5月10日(水):国際理解の集い①>

5月10日(水)、本校体育館にて国際教養科全学年生徒による「国際理解の集い①」が開催されました。教頭先生の英語によるオープニングで始まった今回の集いは、「国際理解・異文化理解の涵養とアカデミックスキルの育成」、「Think Globally, Act Locallyをテーマに思考や視野を広げること」をねらいとし、2、3年生がSDGsや語学留学に関連するテーマを各自が設定した上で、英語でポスタープレゼンテーションを行いました。

6校時目は、札幌大学から、アラン・ボゼア教授をお招きし、「アラン・ボゼアの“そうだったのか!! カナダ”」という演題で、本校国際教養科の生徒が毎年語学留学で訪れるカナダについての見聞を深める時間もあり、生徒・教職員にとって、大変有意義な一日となりました。

